



# 京機会ニュース

No. 30 平成24年(2012年)春号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL&FAX:075-753-5183 URL:<http://www.keikikai.jp/>  
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp



関西支部発信 婚活支援組織

「このえ会」

平成23年に関西支部  
会員有志が運営・管理す  
る婚活支援組織「この  
え会」が発足し、平成23  
年度春季大会・総会(大



阪中央公会堂)から会員募集を開始しました。

現在、60名以上の申込みがあり、マッチングを開始  
しています。事務所はJR新大阪駅から徒歩5分です。

● 会の詳細は、京機会HP(関西支部)によりご確認ください。



## 平成24年度 春季大会・総会

- 今年もご家族揃って春の長崎へ -

平成24年春季大会・総会は、九州支部主催によ  
り、三菱重工業(株)長崎造船所をメイン会場とし  
て、4月14日(土)~15日(日)に開催いたします。

一日目(4/14)は三菱の創始者・  
岩崎弥太郎コーナー、歴史的に  
貴重な機械類が多数展示されて  
いる史料館、タービン工場をご  
見学いただくほか、同所長の相  
馬和夫氏(S50)に「長崎造船所の歴史」、グラバー  
園名誉園長であるブライアン・バークガフニ氏(長  
崎総合科学大学教授)に「東西透かし彫り」と題し  
た講演をお願いしています。



三菱重工長崎造船所史料館

二日目(4/15)は、長崎の一味  
違った魅力満載の2つの観光コー  
スと、雄大な半島の自然に抱か  
れたパサージュ琴海アイランド  
ゴルフクラブでのコンペをご用意  
しています。● 大会の詳細はP. 2~P. 3をご確認下さい。



軍艦島の夕景

## 桂キャンパス完成間近!

- 京機会事務局も桂キャンパスへ移転します -

機械系専攻群は、平成25年春開校を目指し、24年  
冬に桂キャンパスに移転します。京機会事務局も桂  
キャンパス物理系校舎へ移転します。



物理系校舎アフローチ(イメージ)

## 同窓会開催のおすすめ

- 皆さんの同窓会をお手伝いします -



京機会の目的は会員の親睦と発展であり、その原  
点は各卒業年度の同窓会活動にあります。

学年同窓会や研究室同窓会開催に際し、京機会事  
務局は皆様の運営にご協力いたします。

現在、受付WEBシステムや案内配信・宛名ラベル出  
力などのサービスを皆様にご提供しています。

P. 13の「同期会報告」を参考に、是非、皆様も各  
種同窓会をご計画下さい。なお、個人情報保護の関  
係で、関連データ提供に関して簡単な規則を設けさ  
せていただいております。ご了解下さい。



## 2012年度版名簿が発行されます!

- 今号はCD-ROM版で発行します -

会員名簿の発行は、京機会の一つの大きな事業で  
す。名簿は3年ごとに発行しており、今秋冬の最新版  
発行に向けて、現在準備を進めております。

今回のご返信内容が、2012年度版名簿に反映され  
ます。各位におかれましては、同封用紙の記載内容  
をご確認の上、最新データへの更新をお願いいたし  
ます。

名簿は、今回から、利便性の大幅な向上のために、  
配布媒体を冊子体からCD-ROMへ変更いたします。ま  
た、桂キャンパス移転記念号として、一層の内容充  
実を図ってまいります。

**2012年度版名簿は、平成22~24年京機会年会  
費を完納いただいた方に贈呈します。**

なお、従来どおりの冊子版をご希望の方への有償販  
売も予定しています。販売価格ならびに入手方法につ  
きましては、次号(ニュースNo.31)でご案内いたします。

# 平成24年度 京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。  
ご家族の参加も歓迎いたします。多数のご出席をお待ちしております。

- 日 時：平成24年4月14日(土)～15日(日)
- 会 場：三菱重工業(株)長崎造船所本館 8F 大会議室  
〒850-8610 長崎市飽の浦町1-1

■ 交 通：入場の際、門の守衛へお名前と京機会出席の旨、申し出下さい。

● 長崎駅より会場への「相乗りタクシー」をご用意いたします。

14日12時～12時20分頃までに、長崎駅前かもめ広場中央(長崎駅改札前広場)にご参集下さい。九州支部案内員が待機し、4名程度でタクシーに相乗り頂けるようお世話いたします。(タクシー代は千円程度、各自負担)

● バスにて会場にお越しの場合(所要時間 長崎駅約25分、長崎空港約70分)

空港からお越しの場合は、長崎駅にてお乗り換え下さい。

長崎駅からは「長崎駅前バス停」から、「神の島行」または「立神行」(長崎バスの場合は6番系統)に乗り、「岩瀬道バス停」で下車し、本館正門よりご入場下さい。

● タクシーにて会場にお越しの場合(所要時間 長崎駅約10分～15分、長崎空港約50分)

行き先は「飽の浦門経由 三菱重工長崎造船所本館」とご指定下さい。

■ 行 事：

## [4月14日(土)当日行事]

- I. 見学会：12：45～14：30 8F 大会議室集合  
長崎造船所紹介ビデオ、史料館、タービン工場
- II. 総 会：14：45～15：30 8F 大会議室
- III. 講演会：15：45～17：15 8F 大会議室
  - ①「長崎造船所の歴史」九州支部長 相馬 和夫氏(S50)
  - ②「東西透かし彫り」長崎総合科学大学 フライアン・バークガフニ教授
- IV. 懇親会：17：30～19：15 9F レストラン

■ 会 費(懇親会費)：一般：4,000円 学生：1,000円 同伴ご家族：無料



相馬和夫氏



バークガフニ教授

## [4月15日(日)翌日行事] 2つの観光コースとゴルフコンペを計画しました。

(1)九州近代化産業遺産をたどる(参加費：約6,000円(昼食代含))



10:00 常盤ターミナル(常盤棧橋)集合→ 10:40～13:00 軍艦島クルーズ(ガイド付) → 13:15～14:15 四海楼昼食 → 14:30～15:00 小菅修船場 → 15:30～16:40 グラバー園 → 長崎駅、長崎空港方面

(2)「沈黙」の舞台を訪ねて(参加費：約2,000円(昼食代含))



09:00 宿舎(P.3参照)出発 → 10:00～11:30 遠藤周作文学館 → 12:00～13:00 昼食 → 13:00～15:00 「沈黙」の碑、ド・ロ神父記念館、外海町歴史民俗資料館 → 16:00 大浦天主堂 → 長崎駅、長崎空港方面

(3)ゴルフ：パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ(プレー費 約15,000円 参加費 約3,000円)



08:00 宿舎(P.3参照)出発 → 09:00～17:00 パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ(長崎市琴海戸根原町171) → 長崎駅、長崎空港方面

● 自由な服装でお越しください。

● 14日の出欠等のご連絡は、4月2日(月)までに、ホームページまたは同封のはがきでお寄せ下さい。

なお、翌日(15日)の行事に参加ご希望の方は早目にお申し込み下さい。ゴルフ締切は3月26日(月)です。

同伴者がおられる場合は、はがき回答欄にチェックの上、同伴者のお名前も記載下さい。

京機会HP(<http://www.keikikai.jp/>)からも、申し込みできます。WEB申込の場合は、同伴者のお名前も個別に登録下さい。同伴者登録の際、卒業年次項目は会員の学部卒業年次を登録下さい。

但し、二重受付登録防止のため、出欠回答は「はがき」か「WEB受付」のどちらか一方をお願いします。



## 交通・ホテル予約関連のご案内

誠に恐れ入りますが、ホテルや交通のご予約は、参加者各自でお願いいたします。



下記2軒は、主催者側で紹介する長崎市内ホテルです。予約の際に「京機会」とお申し出いただきますと、特別価格で宿泊が可能です。詳細は京機会HPをご覧ください。

(注) 京機会として部屋を一定数確保しているわけではありません。各自で早目にご予約下さい。

- ① **ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル** (長崎市南山手町1番18号 TEL:095-818-6601)  
<http://www.anacrowneplaza-nagasaki.jp/#> シングル 8,500円 ツイン 16,000円 (朝食なし料金)
  - 京機会特別価格予約の締切は4月7日です。予約状況により締切前でもお取り出来ない場合があります。予約状況が即時確認できるため、電話でのご予約をお薦めします。
  - FAX・E-Mailで申込みの場合は、京機会HPより「ホテル宿泊申込事項」をご確認下さい。
- ② **チサングランド長崎** (長崎市五島町5-35 TEL:095-826-1211)  
[http://www.solarehotels.com/chisun/grand-nagasaki/?cid=adws\\_spe\\_ex\\_588](http://www.solarehotels.com/chisun/grand-nagasaki/?cid=adws_spe_ex_588)  
 シングル 6,000円 ツイン 12,000円 (朝食付き料金)
  - 申込みは電話でお願いします。予約状況によりお取り出来ない場合があります。
- ③ **その他にも長崎市内には多数のホテルがあります。**

### ■15日(1)軍艦島ツアーご予約の場合 <集合場所は、常盤棧橋です。(現地集合)>

集合地点である常盤棧橋には、◆ホテルニュータンダ、◆ホテルモントレ長崎、◆①ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルからが便利です。(徒歩5分~10分)

なお、グラバー園(入場料600円)は午前8時開園です。午後の帰宅便の関係で、時間がない方は、8時の開園と同時に見学して、それから常盤棧橋ターミナルに集合されることもできます。

貴重品以外の大きな荷物はホテルに預けて置くか、棧橋のターミナルでツアー会社に預けることになります。四海楼での昼食後、マイクロバスに乗り、小菅修船所等を見学の予定です。

### ■15日(2)遠藤周作文学館ツアーご予約の場合 <集合は4月上旬に事務局より別途ご連絡します。>

ピックアップは、上記の◆①ANAクラウンプラザホテル、◆②チサングランド長崎ホテルとします。他のホテルにご宿泊の方は、①②のホテルにご集合下さい。

### ■15日(3)ゴルフご予約の場合 <集合は4月上旬に事務局より別途ご連絡します。>

午前8時頃に宿舍出発で、午前9時頃パサージュ琴海集合です。原則的には、車で参加した方の車に相乗りしていただく予定です。参加者が決まり次第、スケジュール等詳細をご案内します。



### 長崎までのアクセス

総会は12時45分開始予定です。各自屋食をお済ませになって総会会場にご参集下さい。  
会場(三菱重工業(株)長崎造船所本館)までのアクセスは、前ページにて確認下さい。

詳細な飛行機・列車の時刻(復路含)・パック旅行・駐車場のご案内は、京機会HPをご覧ください。

### ■飛行機でお越しの場合

関東方面から ANA661(羽田8:30発 長崎10:25着) 関西方面から JAL2371(伊丹9:30発 長崎10:45着)  
空港バス 長崎空港10:55発 長崎駅11:38着、長崎空港11:05発 長崎駅11:48着。

### ■列車でお越しの場合

JR九州の特急かもめが博多・鳥栖方面より約30分間隔で走っております。

名古屋・関西からは、のぞみ95号(名古屋 6:20発、京都 6:56発、新大阪 7:12発 博多 9:40着) → かもめ13号(博多9:55発 長崎11:48着)をご利用下さい。

### ■自家用車でお越しの場合

会場の長崎造船所内には一般の車は駐車は出来ませんので、ご宿泊先のホテルまたは一般の駐車場をご利用下さい。



懇親会后、二次会や学年同期会等で会場をお探しの場合は、幹事の方から主催者側世話役に連絡下さい。

お奨めの会場候補を紹介いたします。その後の交渉は幹事の方にお任せいたします。

連絡先:九州支部会計 清水 明 (長菱設計)

## 平成23年度京機会秋季大会・総会のご報告



日 時：平成23年11月13日(日)  
総 会：京都大学時計台百周年  
記念館百周年記念ホール  
懇親会：同記念館国際交流ホール

**今回は本部主催で、延べ約152名の会員とご家族の方に参加いただき、盛況な総会となりました。**

### － 技術講演会 －

講演会では、松久寛教授(S45)より、「縮小社会への道」についての講演があった。昨今言われている理系離れは工学離れであるという現実とともに、文科系出身者に比べ理科系出身者の処遇が低いことが紹介された。子孫の生存のためには資源使用量の縮小が必要であるとの指摘のもと、省資源使用のために取組み可能なこと、不可能なことを明確にして、まだ余裕がある今のうちに、可能なことに取組むべきと提言された。



### － 総会 －

北條正樹代表幹事(S54)の開催挨拶により開会し、藤川卓爾会長(S42)の挨拶に続いて、小森悟工学研究科長(S48)の来賓挨拶をいただいた。



北條代表幹事から、大学・教室の現状、桂移転、教育・研究の国際化、東京オフィス・楽友会館の紹介後、昇任・新任教員及び教員の異動(転出)の紹介があった。

小森工学研究科長  
(平成23年11月時)

その後、京機会の名簿様式の変更(CD-ROM化)と希望者への冊子体の有償配布が提案され、承認された。

続いて、平成23年度上半期の京機会活動とともに、特に「北海道の会」が設立される予定であることが報告された。財務状況に関しては、好転しているものの、なお年130万円程度の赤字が続いているとの報告があった。さらに、KIR(京都イノベーションリソース)の設立と活動およびメカグリッドの発刊について紹介があった。

続いて、前田和樹京機会学生会会長(H23)からの平成23年度活動報告と、小川貴臣プロジェクトリーダー(3回生)からの京大フォーミュラカープロジェクトKARTの活動・成績報告があった。



最後に、北條代表幹事より各支部活動の紹介とともに、今後の春季大会・総会、特に九州支部主催の24年度春季大会・総会、本部主催の24年度の秋季大会・総会の予定が紹介された。

### － 特別講演会 －

講演会では、小川理子パナソニック(株)社会文化グループマネージャーより、「パナソニックの企業市民活動について」と題しての講演があった。企業の社会的責任のフレームワークの中でパナソニックが国内外で取組んでいる様々な企業市民活動(人材育成、環境活動・教育、途上国支援、NPO支援、東日本大震災支援、等)について、事例と戦略を交えながら、詳しく紹介された。

最後に、若い頃から音楽に慣れ親しんだ生い立ちと、ジャズピアノへの目覚め、その演奏活動とチャリティーへの貢献が紹介された。

### － ピアノコンサート －

特別講演の講演者であるMICHIKO 'RIKO' OGAWAさんによるジャズミニコンサートがあった。



ジャズの歴史を解説しながら、「京機会ブルース」の即興演奏を交え、その時々々の名曲の演奏があった。洗練された演奏と歌声に、会場の全員が我を忘れて聞き入った。

### － 懇親会 －

木村健二幹事(S51)の開会挨拶により開会した。藤川卓爾会長の挨拶に続いて、塩路昌宏エネルギー科学副研究科長(S50)の挨拶があり、その後、杉江俊治幹事(S51)より乾杯の発声をいただいた。

歓談の声に包まれた大盛会となり、懇親のひとつきを楽しんだ。九州支部の千々木亨氏(S54)から長崎にて開催予定の平成24年度春季大会総会についての説明があり、久保愛三前会長(S41)の中締めの挨拶の後、京機会と各位の今後の益々の発展を祈念し、一本締めを行った。その後も会場の至る所で懇親が続き、皆名残を惜しんだ。



**● 平成24年度秋季大会・総会は、12月8日(土)に、京都大学時計台百周年記念館にて開催予定です。**

## 京機短信へのご投稿をお願いします！

「京機短信」は、産業界と大学機械系教室との共同戦線を構築して双方の利益を図るため、平成17年10月5日に創刊されました。

創刊以来、編修者である久保愛三氏(S41)のご尽力により現在177号が発刊されており、広くご愛読いただいています。皆様にも是非とも積極的にご寄稿給わりたく、よろしくお願ひいたします。

原稿は、ワードで適当に書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図表・写真などを別のファイルで送って頂いても結構です。

割付等は、編修者が適宜対応いたしますので、全く考えていただく必要はございません。

投稿先：jimukyoku@keikikai.jp（京機事務局）

## 名簿掲載のためのデータ更新をお願いします！

今年度は会員名簿発行の年にあたっており、現在、本年秋冬の発行に向けて順調に最新名簿の編集作業を進めております。

今回発行の名簿に掲載されます**各個人データの更新の最終締切は8月末日(必着)**となっております。

今回同封いたしました皆様の掲載データの内容をご確認の上、変更がある場合は8月末日迄(必着)に京機事務局宛に、同封の返信はがきかE-mailにてご連絡下さい。

更新締切を過ぎますと、本年度発行の最新名簿にデータが反映できませんのでご注意ください。

京機では3年ごとに会員名簿を発行しておりますが、個人情報をも不正使用した被害が頻発する中、皆様もご自身の個人情報に関しましては常に注意を向けておられることと存じます。このような情勢の中での名簿発行ですので、細心の注意を払いながら編集作業を進めております。

## 会費納入のお願い

### 平成24年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力下さい。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

**会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。**

### ●インターネットバンキングもご利用できます。

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機負担といたします(海外送金は除く。))

# 口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ぜろきゆうきゆう ○九九店(099) 当座預金 0116821  
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630  
郵便振替口座 00990-8-116821

### ●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機HPの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

### ●京機会費自動引落のお勧め

**各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願ひ申し上げます。**申請用紙は、毎年、京機ニュース春号に同封しております。

また、京機HPの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。

振込手数料は京機負担ですので、是非ご利用下さい。なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機事務局宛にご郵送下さい。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学工学研究科 機械系教室内 京機事務局

②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引き落とされます。再来年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

**各種詳細は京機HP(<http://www.keikikai.jp>)の「会費納入のお願い」のページをご覧ください。**

### ●永年会員登録のお勧め

1975年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

### ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成23年度ご寄付者( H23. 9. 10~H24. 2. 10 )

小林 眞 様(1970)



## 支部だより

## 関西支部からのお知らせとご報告

### 平成24年度 支部総会・新年会の報告

平成24年1月7日(土) ホテルグランヴィア大阪

・支部総会 (17:05~17:40、出席84名)

平成23年度の支部各種活動報告を行った後、23年度決算、24年度役員・活動計画・予算の審議を行い、原案通りに可決されました。支部長は引き続き並木宏徳氏(S44)が、新事務局長に小林聡氏(S58)が就任しました。

・新年会 (17:45~19:45、参加91名)

平成24年度当番会社(JR西日本)代表平田誠計氏(S43)の開会挨拶、並木支部長の挨拶、京機会藤川卓爾会長(S42)の挨拶、大学代表中部主敬教授(S56)の近況報告の後、参加最年長の若林穰氏(S22)のご発声の乾杯で、学生や新社会人も交えた世代を越えての賑やかな宴が始まりました。途中、学生フォーミュラー「KART」の活動報告では、着実に実力を上げていることが紹介されました。最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」大合唱の後、関西支部の新副支部長松久寛教授(S45)の万歳三唱で締め、終始にぎやかで活気に満ちた新年会となりました。



### 下期の活動報告と今後の予定

#### ■ 産学懇話会

第35回:平成24年2月4日(土) 参加者:43名

(1)「設計部の生産性を考える」

プロセス設計塾 西本明弘氏(S51)

(2)「企業技術者・学部生・大学院生・高専学生を対象とした設計セミナー」 京大 松原厚氏(S60)

(3) パネルディスカッション

座長:西脇眞二(S61)

パネラー:坂戸瑞根(S32)、吉岡肇(S37)、金田修一(S49)、薄木栄治(S56)、楠浦崇央(H7)の各氏

#### ■ 異業種交流会

第31回:平成23年10月28日(金)

会場:住友金属工業(株)

交通産機品カンパニー

参加者:30名

見学:製鋼所(台車工場、はがね歴史記念館他)

講演:「鍛造クランク軸の海外展開について」

型鍛造技術室 吉田邦裕氏(H5 航空)



#### ■ 異業種交流会

第32回:平成24年3月2日(金)

会場:コマツ SMILE(学生会)との共催企画

#### ■ MOT研究会(京機サロン)

第10回目となる若手交流会を、平成23年10月1日(土)に神戸市立フルーツフラワーパークで開催しました(参加者9名)。



今年度は3~4回の講演会や交流会を開催します。第11回(3/17)は「南禅寺坐禅と手作り和菓子体験」。

#### ■ ここのえ会

京機会関西支部の会員および会員子女を主な対象とした結婚支援活動組織「ここのえ会」では、多くの出会いを実現するため入会登録者数の拡大に努めています。事務局において積極的なPRを展開するとともに、会員の皆様にも積極的な口コミPRをお願いいたします。会の詳細やお問い合わせは京機会HP(関西支部)をご覧ください。

#### ■ KMC(京都MOTセンター)

「中長期的な技術開発テーマをいかにして創出するか」について、関心と問題意識をお持ちの技術研究所や技術戦略企画部門などの京機会会員で構成する「イノベーション研究会」を立ち上げました。

また、会員のネットワークを活用して研究室や企業間のシーズ・ニーズのマッチング支援や人材情報の照会およびMOTに関する研究活動などを行う計画です。

#### ■ 京機九日会

偶数月9日(除12月)に中央電気倶楽部(大阪・堂島)で11時~14時に開催しています。平成24年はS41卒組が幹事を担当します。本年の予定は下記の通り。

2月9日「寒い冬のお風呂場を暖かく」

牧野俊郎氏(S47)

4月9日「シルク・ロード踏破紀行」 平忠明氏(S39)

6月9日「人工臓器の現状と将来」 井街宏氏(S41)

8月9日「ドイツ社会とドイツ人気質について」

藤村直彦氏(S41)

10月9日「ヨットによる太平洋冒険航海紀行」

山崎勲氏(S41 航空)

10月は卓話のあと恒例の懇親会を開催しますので参加者は予め幹事にご連絡下さい。

幹事:石坂章(代表)、石村、古池、林

#### ■ 京機・京都の会

京都近辺の京機会会員交流会を3、7、9、12月の第一土曜日、ウエスティン都ホテル(蹴上)で11時から開催しています。毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談の楽しい一時を過ごしています。

詳細は、京機会HPをご覧ください。



第12回 関東支部総会・新年会の報告

日時：平成24年1月21日(土) 14:00～19:30  
場所：日立金属高輪和彊館 参加人数：61名  
■リカレント教育講座

「振動のブレークスルーは物理の原理から」  
講師：松久寛氏 (S45、京都大学工学研究科教授)

■総会・新年会

講演：「日本人と世界を隔てるもの  
- 国土・論理・多様性 -」  
講師：大石久和氏 (S43土木、(財)国土技術研究センター理事長)

リカレント教育講座では松久教授から、振動のお話を通じての「目から鱗」の発想を、特別講演では大石氏から、日本人の特異性を国土、文化、世界観を始め幅広い見地からご紹介いただきました。

また、新年会では、写真同好会の写真を展示し、活動成果を紹介しました。



第10回 異業種交流会の報告

日時：平成23年12月1日(土) 13:30～19:00  
場所：野村総合研究所 横浜LC  
参加人数：21名

講演：「価値創造イノベーションの新潮流と  
イノベーション人材」  
講師：村田佳生氏 (S59、野村総合研究所執行役員)  
見学：横浜データセンター

国内最大級の高信頼性データセンター設備を見学の後、イノベーションに関する講演をいただきました。まさに異業種交流にふさわしい内容で、参加者一同大いに刺激を受けた一日でした。



MOT(技術経営)セミナー

日時：平成24年2月25日(土) 16:00～20:00  
場所：京都大学東京オフィス(品川)  
講演：

「社内ベンチャー・サクセスストーリー体験談」  
講師：麻生川静男氏 京都大学産官学連携本部准教授

ゴルフ同好会

日時：平成24年3月15日(木) 9:00～  
場所：江戸崎カントリークラブ(茨城県稲敷市)

関東支部では、写真同好会、ゴルフ同好会を始め、種々の同好会への参加者を募集しております。

MOT(技術経営) セミナー

関東支部では若手会員の活性化を目的としての行事を種々実施しています。

近年エンジニアのキャリアアップは、シニアマネジメント職に就くだけでなく、社内起業プロジェクトをリード、専門性を生かした転職、自分のシーズを育てるための起業など、ますます選択肢が拡大しています。今後、エンジニアは、どのキャリアパスを選択するにも、MOT(Management of Technology)やイノベーションの知識が求められると思われます。

そこで、本支部では、活躍するエンジニアに向けて「革新」・「技術」・「組織」をキーワードとしたMOTセミナーを京都大学産官学連携本部と日本ベンチャーキャピタル株のご協力を得て、平成23年度より開催しています。

第1回は、平成23年6月11日(土)に、日立金属高輪和彊館にて開催しました。シミック株代表取締役会長兼社長 中村和男氏の講演と質疑応答さらに「講師と京都大学産官学連携センター 木谷哲夫教授を囲む懇親会」を実施しました。

京機会メンバー24名を中心に50名の参加者により有意義なセミナーとなりました。

第2回は、京機会メンバーでもある本学産官学連携本部准教授 麻生川静男氏(S52)の講演があり、今回も30名を越える京機会メンバーに参加いただきました。

本セミナーは半期に1回、2年間で4回のコースを予定しています。

次回以降の皆様のご参加をお待ちしています。

詳細は、京機会HPにてご確認下さい。

<[http://keikikai.jp/salon/kanto/salon\\_kanto2011.html](http://keikikai.jp/salon/kanto/salon_kanto2011.html)>



第1回 MOTセミナーの様子



## 支部だより

### 中部支部からのお知らせとご報告

#### 学生工場見学会・技術交流会/懇親会の報告

日時：平成23年9月6日(火) 15:00～

工場見学：(株)デンソー 西尾製作所

講演会/懇親会：Dスクエア

講演：「プラグインHVの現状と今後について」

安部 静生氏(S57) トヨタ自動車(株)

例年、大学の夏季休暇中に実施される現役学生の中部地区工場見学会に合わせ、今年度もOBとの技術交流会/講演会/懇親会を開催しました。

学生は午前中に(株)森精機製作所伊賀事業所を見学の後、(株)デンソー西尾製作所でOBと合流し、最新の熱交換器製造ラインを見学しました。

工場見学の後、講演会/懇親会会場のDスクエアに移動し、トヨタ自動車(株)の安部氏に「プラグインHVの現状と今後について」と題して、今年本格的に市場に投入されるプリウスPHVのシステムとバッテリー選定の経緯などについてご講演いただきました。



講演会の後は立食の懇親会を開催し、学生とOBが入り交じり、飲み物片手にコミュニケーションを深めました。学生にとって中部地区が身近な存在になったようです。

#### 若手との懇親ゴルフ

12月11日(日) 豊田カントリークラブにて、昨年につき2回目となる懇親ゴルフを開催し、11名が参加して、好天のもと各々のレベルに合わせゴルフを楽しみました。



#### 支部総会のお知らせ

**平成24年度中部支部総会を、平成24年4月7日(土)15:30～(予定)開催します。会場はシャインズ(豊田自動織機社員クラブ)(刈谷市)です。**

昨年は、震災のため懇親会を自粛しましたが、今年は、特別講演に加え懇親会も開催します。詳細は、後日、メールやHPにてご案内します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

### 中国・四国支部からのお知らせとご報告

#### 平成24年度支部総会の報告

日時：平成24年2月4日(土) 12:15～19:30

特別企画：松山観光「子規記念博物館」「松山城」他  
参加人数：28名

支部総会場所：東京第一ホテル松山

特別企画の松山市観光では、正岡子規や「坂の上の雲」の秋山兄弟を紹介した「子規記念博物館」や松山城を見学しました。



異業種交流会では、高知工科大学河田耕一名誉教授(S37)から「高知県教育委員長を務めて」、また香川大学三原豊教授(S43)から「技術について思うこと」と題する講演をいただきました。いずれも活発な意見交換がなされ、大変盛り上がりました。

#### 平成24年度支部役員

支部長	石崎幸人(S43)
副支部長	稲本信秀(S52) 山本 謙(S50)
	琵琶志朗(H2)
監事	三原 豊(S43)
事務局長	岩崎嘉徳(H1)
事務次長	小川 誓(S62)

#### 技術連絡会の報告

日時：平成23年11月24日(木) 17:30～19:30

場所：JFEスチール(株) 西日本製鉄所 広江クラブ

今回初めて現役京大生の中国・四国方面の工場見学会が実施されました。これに併せて支部の技術連絡会を開催し、学生さんとの懇親会も開催しました。







**H23年度九州支部秋の行事の報告**

平成23年11月26～27日 熊本県阿蘇:参加数17名

**<1日目行事> 26日(土) 講演会、総会、懇親会**

**第一部：第2回リカレント講演会**

<テーマ>

「エネルギーからみた現代文明の持続＝縮小」

<講師> 松久 寛教授(S45、機械理工学専攻)

自然エネルギーには量的限界があり、消費抑制によって資源枯渇を回避すべしとの提言がありました。また、振動理論の原点から発想した投資ミニマムの制振技術を、船舶やロープウェイでの適用成功例を交えながら、説明頂きました。

**第二部：支部総会**

「九州支部の歩み」報告と相馬和夫支部長(S50)の挨拶(代読)、藤川会長(S42)の来賓挨拶に続いて審議に入り、平成23年秋までの会計監査報告を承認し、新役員として千々木亨氏(S54)を副支部長に、角知則氏を事務次長(S55)に選出しました。北條氏(S54)からは大学トピックスとして桂キャンパスの建設と移転の準備状況が報告されました。また千々木氏から、「震災孤児へ図書を送る会」はじめ東日本大震災支援の活動紹介がありました。



**第三部：懇親会**

夕食会では、皆で阿蘇牛のステーキ、天草の海鮮料理を楽しみ、カラオケでも琵琶湖周航の歌で盛り上がりました。

**<2日目行事> 27日(日) オフショナリ観光(北方向グループ)**

雄大な阿蘇草千里、外輪山のドライブを楽しんだ後、九州電力八丁原地熱発電所(わが国最大)を見学しました。その後、二班に分かれ、一班は日本最長の歩行専用吊橋(390m長・173m高)の「九重夢大吊り橋」を、もう一方の班は奥満願寺温泉の川沿い露天風呂、小国駅跡の見学を楽しみました。



**(東方向グループ)**

高千穂峡では「真名井の滝」の真下でボートに乗り、昼には青竹で燗をつけた「かつぼ酒」を楽しみました。「高千穂神社」では夫婦杉を回って夫婦円満を祈願し、「天岩戸神社」や神々が集ったという「天安河原」を訪れました。



帰路、「国見が丘」では阿蘇山を涅槃に見立てた絶景も堪能しました。

**平成24年度春季大会・総会のご案内**

平成24年度京機会春季大会・総会を、4月14日～15日に九州支部主催にて長崎で開催します。多数のご参加をお待ちしております。(詳細はP.2～3)

**北陸、信越、東北、北海道地方の会員の皆さんへ**

現在、京機会では、関西、関東、中部、中国・四国、九州の5支部が活動しております。北陸、信越、東北、北海道などは現在のところ、それらに含まれていません。これら地区は会員数が少なく、支部の構成に至っておりません。このような地区については、ご希望の方は近隣の支部の会員とすることもできます。また、長野など交通事情から考えると県ごと、関東支部に入っただけでもいいという考えもあります。さらに、道・県または市単位で懇親会的な地区京機会を持つことも可能です。

本年度、春季大会・総会を主催する九州支部も当初は「京機・福岡の会」から始まりました。

その後、地域に密着した親密な人的ネットワーク

のもと、毎年開催される春秋の行事には、支部内外から多数の参加者が集まる独自のスタンスを形成され、立派な支部となっております。

現在、北海道地区も「北海道の会(仮称)」設立に向けて、地元の関係各位にご尽力いただいております。北陸、信越、東北でも支部設立のご希望があれば協議させていただきます。

本部としては参加会員のうち会費納入者1名当り年750円(自主的に運営される場合)の交付金を支給すると共に、地区会員名簿の作成など地区京機会の設立に協力いたしますので応募してください。

また、近隣支部への参加を希望される場合もご連絡下さい。その他ご意見を事務局迄お寄せ下さい。

## 学生会員へのお知らせ

### < 修了・卒業されるみなさんへ >

#### 大学院学位授与式・卒業証書授与式のご案内



本年度も教室では、物理系校舎313室にて、3月26日(月)18時から機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位記授与式を、3月27日(火)12時から卒業証書授与式を行います。

#### 修士修了記念パーティーのご案内

**学位授与式(3/26)終了後、京機会主催の記念パーティーを開催します。** 本会は2012年度に新社会人となる学生会員が対象で、博士修了・学部卒業の学生会員も参加下さい。記念写真撮影も予定しています。

#### 卒業記念品(名刺入れ)の贈呈

社会人になる方には、京機会特製名刺入れを贈呈いたします。(2012年度会費納付が前提です。)

### < 機械系に在籍のみなさんへ >

#### 入会&データ登録のススメ

学生向け情報も、多数配信していますので、京機会へのE-mail等のデータ登録をお願いします。

■ **平成24年度も、全会員向けの企業見学や、2回生向けの関西地区の企業見学を開催予定です!**

### < 新修士学生会員のみなさんへ >

「**京機会 海外へチャレンジ・脇坂基金**」に応募ができます。申請方法は、随時、E-mailにて案内します。



**脇坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より交通費等を補助します。状況により修士以外の学生会員の応募も可能です。**

## 学生会SMILEからのお知らせとご報告

### 学生と先輩の交流会の報告

日時:平成23年12月27日 参加学生:約300名

私達SMILEの活動の代名詞とも言える「学生と先輩の交流会」を、本年度も京都大学百周年時計台記念館にて開催することができました。例年の開催時期とは異なる時期、それも年末の学生・企業の方共に忙しい時期に開催せざるを得ず、企画段階では不安の多いスタートとなりましたが、お越し頂いた企業は官公庁を含む87社、計195名にも及び、また、学生の参加人数も多く、お蔭様で盛況のうちに終わることができました。また、同日夕方の懇親会においては、学生は127名の参加で、例年以上の賑わいを見せ、一つのイベントとして学生への認知度が年を経るごとに大きくなってきているように思えます。

学生の事後アンケートでは95%程の高い満足度が得られ、企業の方の事後アンケートでも、時折お厳しいご意見も頂きながら、多くの方から良い評価をして頂き、達成感を感じています。

本交流会の開催に際して多大なるご協力を賜った先輩の皆様、先生方、そして京機会の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。



### 各地区工場見学会の報告

日時:【中部】平成23年 9月6日~7日  
【関東】平成23年 9月28日~29日  
【中国・四国】平成23年11月24日~25日  
【関西】平成24年 3月2日

本年度は、例年実施の中部、関東工場見学に加えて、新たに中国・四国工場見学を開催しました。見学先は、中部工場見学では、(株)森精機製作所・(株)デンソー・トヨタ自動車(株)・産業技術記念館、関東工場見学では、(株)日立製作所・三菱重工業(株)・日本たばこ産業(株)・新日本製鐵(株)、そして中国・四国工場見学では、三井造船(株)・JFEスチール(株)・三菱重工業(株)・マツダ(株)です。どの工場見学も普段見ることのできない最新技術に触れることができ、参加学生にとって有意義な時間となりました。また、3月にはSMILE主催で関西工場見学も開催しました。見学先は西日本旅客鉄道(株)とコマツです。



### 講演会の報告

日時:平成24年1月10日(火)

学生に「働く」ということについて考える為のヒントとなるような、『生きがいの持てる仕事とは』という講演を、元ダイハツ工業(株)専務の西田弘様(S28)にして頂きました。社会であるべき姿を目指すきっかけとなったと思います。



## 教員の異動

### 昇任

◆**泉井一浩准教授**：H8京大・工・精密卒、H10同大学院工学研究科・修士課程修了、H17京都大学博士(工学)、H11本学精密工学専攻助手、本学航空宇宙工学助教授等を経てH23. 10. 1本学機械理工学専攻准教授。機械設計・開発・生産における諸問題のシステム最適化法に関する研究に従事。大阪府出身。



◆**横川隆司准教授**：H12京大・工・物理卒、H14同大学院工学研究科・修士課程修了、H17東大工学系・電気・博士課程修了、博士(工学)、H17立命館大マイクロ機械システム工学科専任講師。H21本学マイクロエンジニアリング専攻助教。H23同准教授。マイクロ・ナノマシニングと生体分子を融合した分子システム創製の研究に従事。静岡県出身。



### 新任

◆**加納 学教授**：H4京大・工・化学工学卒、H6同大学院工学研究科・修士課程修了、H6同化学工学専攻・助手、H11本学博士(工学)、H16同専攻・助教授、H24. 2. 1本学情報学研究科システム科学専攻・教授。プロセスシステム工学、特にプロセスデータ解析・プロセス制御に関する研究とその産業応用に従事。京都市生まれ、滋賀県出身。



### 異動

◆**神野伊策准教授**：平成23年10月1日  
神戸大学 工学研究科 機械工学専攻の教授に昇任

### 退職

◆**松久 寛教授**：平成24年3月31日定年退職予定  
◆**落合庄治郎教授**：平成24年3月31日定年退職予定

## 学生KARTからのお知らせとご報告

私たちKARTは、小型フォーミュラカーを学生自らの手で製作し、全日本学生フォーミュラ大会での総合優勝を目標に活動する学生レーシングチームです。KARTでは、車両の設計、製作のみならず、渉外、広報、会計処理、チームマネジメントに至る全ての業務を学生自身が行います。車両開発の中で直面する様々な問題を克服し、技術力を身につけていくのはもちろんのこと、メンバー間で折衝することや、責任を持って担当部署を勤め上げることといった、座学では学ぶことの出来ない実地的な経験を学生のうちから積むことを目指しています。

昨年度まで、「2年かけて総合優勝を目指す」という「2ヵ年計画」を掲げ、昨年9月に行われました第9回大会での総合優勝を目指して活動して参りました。昨年度の大きな特徴として、車両コンセプトを一新し、車両のフルモデルチェンジを行ったということがあげられます。これは大会のコースに適した低速重視の車両の理想を突き詰めた結果、4気筒エンジンから単気筒エンジンへ変更し、軽量化によってその出力低下を克服すると同時に、旋回性能を高めた方が良く、という結論に至ったためです。

迎えた第9回大会では、これまでにならぬほど多くの賞を獲得することが出来ました。コスト賞1位、デザイン賞3位をはじめとした静的審査での高評価は、この「2ヵ年計画」での一つの大きな成果であるとともに、これからの活動に活かしていくことが出来る貴重な財産でもあります。

また大会出場車両の中で最も軽量の車両であるという最軽量化賞も頂き、狙った通りの車両に仕上がったと思います。



しかしながら、大会中最も配点の高い耐久走行の種目において、車両はエンジントラブルに見舞われリタイヤを喫することとなってしまいました。総合順位も21位と落ち込み、それまでの結果が好調だっただけに尚更残念な結果に終わってしまいました。

昨年度のこの大きなミスを反省し、今年度私達は再び総合優勝を目指します。今やKARTの特徴となった単気筒、ギアドライブ、アルミフレームは踏襲しつつ、信頼性を高め、昨年度車両のデータをもとにさらなる車両性能を発揮できるような設計が出来たと自負しております。

1月中旬の時点ではフレームと足回りパーツやエンジン関連パーツの一部が完成しているのみですが2、3月の大学の長期休暇を有効活用し、例年通り3月シェイクダウンを目指し活動して参ります。

「2ヵ年計画」であとわずかのところにまで迫ることのできた栄光を勝ち取るため、日々邁進してきたいと思います。

私達KARTに温かいご声援をよろしくお願いたします。

京都大学フォーミュラプロジェクトKART  
2012年度プロジェクトリーダー 小川 貴臣  
HP : <http://www.formula-kart.org>



### 個人サポーター募集 (ご支援よろしくお願いたします)

京都銀行 百万遍支店 (店番146)  
口座番号：普通預金 4073948  
口座名義：カートエフエーダイヒヨウシャ  
マツバラアツシ

## 教員からのメッセージ

- いくつかの研究所・大学を経験してきた -

花崎 秀史 氏(S59) :

京都大学 工学研究科 機械理工学専攻  
流体物理学分野 教授

1984年東京大学工学部物理工学科卒。1986年 同大学院工学系研究科物理工学修士課程修了。

その後、現つくば市の国立研究所、東北大学を経て、2004年より本学機械系に勤務。2010年より現職。



私は8年前に京都大学に赴任するまで、国内のいくつかの研究所や大学に籍を置いてきました。京機学会ニュース担当の先生から今回、そのような経験に基づく感想なども含めて記事を書いて頂ければとのお話がありました。そこで、これまで私が本務・兼務を通じて所属してきた組織を振り返りながら書かせて頂きたいと思います。ただ、いざ書き始めてみますと、個別の組織への感想は思っていた以上に書きにくく(これまでお世話になり、これからもお世話になる可能性がありますので)、結果的にあまり踏み込んだ感想にはなっていない点もありますが、ご容赦願います。

### 1. 国立研究所

大学を出て研究者としてまず所属したのは、いわゆる国研(現在の茨城県つくば市にある国立研究所)でした。今から25年以上も前のことであり、就職当時は国研でありながらも基礎研究重視の意識が強く、若手の研究テーマの自由度も大きく(ただし、これは所属していた研究所の例外的特性だったかも知れません)、若手がのびのびできる雰囲気が残っていました。今から考えると天国のような所だったかも知れません。ただ、やがて数年のうちにガラッと雰囲気が変わり、所属官庁の政策立案や遂行に直接役立つ研究(のみ?)が評価される状況になってしまいました。現在は、マスコミで取り上げられる研究が格段に増えましたが、基礎研究を重視していた時代への郷愁を感じている(本来の研究の姿はそこにはない?あるいは、そこにあるべきではない?と心の中で思っている)研究者が多いのも事実です。

### 2. いくつかの大学

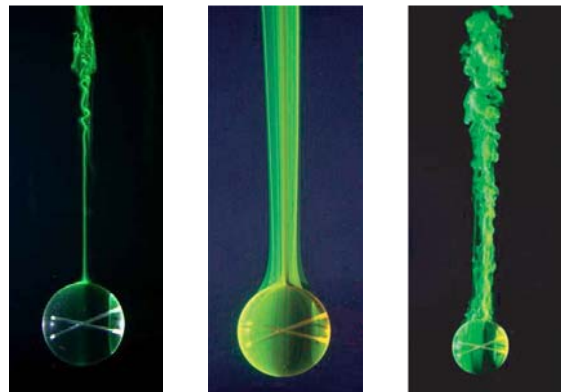
その後、私は東北大学に移りました。東北大学は、研究第一主義の大学であると同時に、実学重視の大学でもありました。研究重視という点では京都大学と共通と思いますが、特に工学系に関して言えば、基礎研究か実学かという理念の大きな違いがあります。基礎と応用は相補的な関係にあるため、どちらが重要かという難問はさておき、その理念の違いは、有形無形に教員の研究にも影響を与えているかもしれません。

また4年間、客員教員として東京大学の機械系も兼務しました。週1回程度、東北大に移ってからは2週に1回しか行けなかったのですが、大学院と学部学生の指導教官になっていた関係で、論文審査、研究室の運営など、私にとっては新しい場所の経験となりました。例えば、修士論文審査をする教員については、指導教官以外は特定されておらず、その時発表会場にやってくる教員の定足数のみ(確か5名程度)が決まっているというおおらかな?面もありました。

なお、本題と関係ありませんが、兼務ですと学生は教員をあまり頼りにできませんが、その分、自立して育ててくれた学生がいたことは印象に残る点です。

### 3. まとめ

京大の自由の学風、また工学部でありながら基礎研究重視の姿勢は、研究者にとって理想的な場所であると思います。多くの旧国立研究所の現在の状況、他大学の状況を振り返ってみると、その感はいっそう強くなります。今後とも、恵まれた環境を生かして、世界を見据えた流体力学の研究と教育を進めていきたいと考えています。



密度成層流体中を鉛直移動する球まわりの流れ

### 1975(昭和50)年卒同期会の開催

昨年11月12日に10数年ぶりに1975年卒の同期会を開催しました。その際、京機会の受付登録システムを利用させていただいた事により、出欠の意思表示や出席者の確認・集計などに関して幹事の負担が低減されました。年齢的にも還暦前後で人生の一つの区切りを迎え、多くの方の出席をいただき、盛況裡に終えることができました。ここで、案内から開催までの流れと受付登録システムを使った感想を述べさせていただきます。



まず、同期会の開催について4か月前にアナウンスし、おおよその参加人数の把握とメールアドレスの確認を行いました。その結果に基づいて日時、場所、等の詳細を決め、システムを通じて皆さんからの受付登録を開始しました。本システムは全学年対象のイベントを想定したもので、同期会では卒業年の記載の必要がないことや、欠席者やコメントは一般に公開されないことなど、初めて使った方は戸惑われた部分もあろうかと思えます。したがって、それらの情報の閲覧権を持つ世話役(私)が欠席者と支障のないコメントを適時取りまとめ、Webにアップしてご覧いただく事で回答状況をお伝えしました。併せて、メールアドレスの不明な方の情報を提供いただき、100名近くの方との連絡網を確保できました。結局、計84名の方から返事をいただき、うち43名の方が出席して下さいました。都合がつかず欠席された方にも状況を逐次お知らせすることができ、同期の一体感を少しは取り戻せたかと思えます。

35年ぶりと言う方も多く居られましたが、直ぐに昔を思い出して打ち解け、賑やかに昔話や老後の楽しみ、孫自慢などの話題に花を咲かせました。途中で一人1~2分の近況報告をお願いしましたが、これまでの年月をまとめるのに制限時間内に収まるはずもなく、大幅に時間を延長してしまいました。しかし、久しぶりの同期会としては成功だったと思えます。

登録受付システムについて言えば、出席から欠席への変更や誤情報の訂正は事務局でしか行えず、その度に段さんにはお手数をお掛けしてしまいました。同期会用に設定したシステムの構築も望まれます。(文責：塩路)

### 1990(平成2)年卒同期会の開催

12月10日(土)に、90年卒業の有志18名が(遠くは栃木、東京、神奈川からも)、京都(アパホテル京都駅前レストラン四季)に集まって同窓会を開催しました。卒業後21年を過ぎての、同期としては初めての開催でした。懐かしい顔ぶればかりで、なかには初めましてという人もいましたが、そこは同期の縁で新たに友人の輪を広げることができました。

社会へ飛び出して各方面で活躍している人、大学で学問を続けている人、企業から大学に戻った人、皆が20年間それぞれの道で頑張ってきたことを実感しました。積極的に海外で修行を積んだ人も多く、最近の学生があまり海外に出たがらないという昨今の報道とは反対で、我々の世代はまだまだ広く海外へ出て活躍の場を求めるのが当然という意気込みを感じました。

今後も隔年で同期会を実施し、次回2013年には参加30人を目指そうということになりました。同期の皆さんには、またホームページやニュースで連絡しますので、ぜひご参加下さい。お会いできることを楽しみにしております。

#### 【京機会を活用した同窓会開催について】

今回の開催告知では京機会のニュースやホームページ、メール配信システム等、京機会のさまざまなシステムを活用させて頂きました。なかでも便利だったのはウェブでの申込受付システムでした。参加予定者リストが更新されるのを閲覧できるので、名前を見た旧友の参加を呼び込む効果もあったと思います。当初は何人参加してくれるか不安でしたが、ウェブ上で参加予定者の名前が増えるにしたがって楽しみが増し、最終18名になったときには一安心しました。

残念だったのは、卒業生のうちメールアドレスが登録されているのがごく一部で、全員に案内が届かないことです。同窓会を繰り返すうちにアドレス登録者も増えていくことを期待したいと思います。

(文責：川那辺・畑・琵琶)



参加者：新玉・岩井・植松・大鹿・大塚・川那辺・坂口・柴田・丹羽・畑・琵琶・堀田・増田・松井・松原・水山・三輪・山本(50音順)

## 会員のページ

### 京機22年会（昭和22年卒）同窓会

日時：平成23年10月24日（月）

場所：ホテルグランヴィア大阪 出席者：14名

今夏の猛暑のため窪田幹事と岸本評議員が共に体調不良となり欠席。若林、河野が幹事代行をし、中井が評議員を引き継いだ。夫人二人（天野、若林）を加えて漸く14名。米寿前後の我々としてはよく集まったと思う。天野の自分史概説、竹内の独居老人ホーム選定の苦心談など昭和史を生き抜いた我々には身にしみる話題が多かった。再会が楽しみである。

次回：平成24年3月26日（月）

場所：ホテルグランヴィア大阪 （中井記）



### 京機23年会（昭和23年卒）同窓会

平成23年11月10日、昨年と同じJR大阪駅構内のグランヴィアホテル大阪で行われました。出席者は9名（写真前列左から高橋、岐美、伊原、井宮、後列左から中塚、西岡、尾谷、江本、竹内）でした。21人に案内を出して、遠藤浩司、西岡美福のお二人は永眠の返事を奥様より頂きました。ご冥福をお祈りします。昼食をとりながらの3時間、飲み放題のアルコール類は元を取るのが困難になってきました。しかし話題は多岐多様、昔のままの歓談に花が咲きました。一年一年の加齢で出席者が定着してきておりますが、来年も全員元気で集まろうと氣勢をあげて閉会しました。

なお、現在同窓会のご案内を差し上げていない方でもご参加頂ける方は西岡までお電話頂ければ案内はがきをお送りします。大歓迎です。

来年は平成24年11月11日（日曜日）に同じ場所で開催します。（西岡記）



### 海底会（1953年旧制卒）同窓会

日時：平成23年10月20日（木）12：40～15：30

場所：大阪 社団法人 クラブ関西

前回の東京から2年たち、入江、柴田両兄のアレンジで大阪堂島で開催した。特に柴田兄のご高配によって、木立に包まれて都会の喧騒を感じさせない格調あるクラブ関西で、本場のフランス料理を賞味しながら、団欒の一時を過ごすことができた。遠く東京、広島、松江からも参集した会員8名、ご夫人と息女3名の計11名が、お互いの健康を喜び、近況を語り合い、昔を懐かしんだ。辻兄にご苦勞を願って、2年後に元気で再会できれば幸いではないかと思っている。（乾記）



### 昭和42年卒 同窓会

平成23年11月11日（金）、北品川の「金時」にて恒例の関東地区同期会を開催しました。仙台と静岡からの参加もあって11人集まりました。仙台の清野氏が予め被災地の東北産銘酒を11本送ってくれました。2011年11月11日に11名が出席して11本の銘酒と“FIVE ELEVEN”の同期会でした。「金時」の女将も一緒に全員で銘酒を味わいました。

出席者：岡 毅遥、清野 慧、後藤周一、長崎 啓（幹事）、平尾 隆、藤川卓爾、前野幹彦、間瀬俊明、元木敏雄、若園 修、渡辺光寛

（藤川記）



## 昭和55年卒（51年入学）同窓会

平成23年10月1日（土）16時～百万遍交差点近くの「まどい」にて開催しました。出席者数33名で、大変盛り上がりました。2次会は先斗町に約半数の方が繰り出しました。

出席者は以下の方です。（敬称略）

石田和史、井田真樹、市修三、入山博行、上田昭、上田陽一、奥田啓二、奥田寛、片岡晃、加藤親久、久保智彰、久米建夫、黒岩一郎、黒田浩一、小杉健一、小寺秀俊、小南哲也、角知則、田中秀幸、田端茂夫、田矢裕志、堤健郎、豊島秀一、西本淳哉、野中鉄也、姫田篤、福本紀、藤井晃二、藤居義和、真砂洋二、松本信一、山本俊則、和辻健二

今回ご欠席の方も次回は是非ともご参加下さい。

幹事：石田和史、奥田寛



## 佐々木研最後の教職員を囲む集い2011 （佐々木・岡村研OB有志）

11月8、9日に恒例の「佐々木研最後の教職員を囲む会」第15回例会を伊豆土肥で行いました。

当日は、新幹線静岡駅に集合して、久能山東照宮を拝観した後に、清水港からフェリーで駿河湾を横断し、土肥明治館にて、夫人方3名も加わり、21名参加の懇談会を開催しました。

2次会は狭い1室に16名が集まり、遅くまで旧交を温める場となりました。

翌日は旅館近くの土肥金山を見学して、フェリー乗り場の土肥港で、来年の再会を期して散会しました。（広岡記）



## 学年・研究室同窓会開催のご案内

### 京大明石研拡大同窓会

平成24年4月21日（土）15時から、京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールにて、第2回「明石研拡大同窓会」を開催いたします。

是非ご参加下さい。お問合わせは下記まで。  
連絡先：戸谷幹夫(S46)

### 第2回 島研&小寺研同窓会

平成24年3月24日（土）に同窓会を開催いたします。ご卒業生はじめ関係者の方々には是非ご参加下さい。

《研究報告会会場》京都大学 物理系校舎（216号室）  
《ポスターセッション会場》 〃 （214・215号室）

《交流会会場》聖護院御殿荘

詳細は小寺研HPにて、ご確認下さい。

<http://www.ksys.me.kyoto-u.ac.jp/>

### 晦日会

晦日会は、平成22年から、8月最終土曜日に開催することになりました。

平成24年は8月25日（土）17時から「ホテルグランビア大阪 19階アブ」で行います。

関心ある方は幹事 川合まで。

### 五十年会(昭和25年卒)平成24年例会

平成24年例会は、下記日程で開催します。

日時：平成24年5月21日（月）

場所：大阪倶楽部

### 松久研・落合研同窓会案内は次ページ 昭和50年卒・平成2年卒の同窓会報告はP.13 をご覧ください。

同窓会開催のお手伝いに関しましては、ご遠慮なく事務局にお問い合わせ下さい。



### 京機会ニュース記事投稿のお願い

- 毎号、多数のご投稿を有難うございます -

「会員のページ」の原稿字数は、150字以内（厳守）をお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただくことがあります。

また、お送りいただいた写真は返却いたしません。ご了承下さい。画像ファイルも可能です。

次号(2012 秋号No. 31) 締切は、7月末日です。

編集担当：蓮尾昌裕、富田直秀、小森雅晴、  
段 智子、中尾美江

## 退職記念行事のご案内

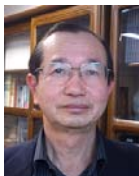


本年3月31日付で、機械理工学専攻の松久寛教授と現材料工学専攻の落合庄治郎教授(旧機械工学専攻協力講座所属)が定年退職されます。先生方には、永い間有難うございました。

### 松久 寛教授退職記念行事のご案内

平成24年4月29日(日)に、松久 寛教授の退職記念講演会・パーティーを開催いたします。

振動工学研究室のご卒業生、京機会の関係者をはじめとして、これまでに先生とご縁のあった皆様には、是非お誘い合わせの上、ご参加いただければと存じます。



#### <退職記念講演会>

日時:平成24年4月29日(日)14:00~15:30

場所:京大吉田キャンパス物理工学校舎313講義室

参加費:無料

#### <退職記念パーティー>

日時:平成24年4月29日(日)18:00~20:30

(受付17:30~18:00)

場所:京都ホテルオークラ

参加費:15,000円(学生および同伴者は10,000円)

行事の詳細や参加申込の方法、出欠のリスト等を下記URLに掲載しておりますのでご確認ください。

<http://vibration.jp/retirement/>

### 落合庄治郎教授退職記念行事のご案内

落合庄治郎先生は、1992年7月から2002年3月まで、工学部(工学研究科)附属メゾ材料研究センターメゾ材料評価学分野を担当され、機械工学専攻の協力講座として研究と教育のご指導をいただきました。併せて、94年から2002年まで、センター長も務められました。その後、国際融合創造センターを経て、現在は材料工学専攻に所属されており、本年3月に定年を迎えられます。

研究室としての記念行事を、平成24年8月4日(土)午後、ホテルグランヴィア京都で開催予定です。研究室卒業生の方は是非ご参加下さい。

記念行事のお問い合わせは下記までお願いします。

山口(Tel:075-753-4835)

yamaguchi@iic.kyoto-u.ac.jp

北條(Tel:075-753-4836)

hojo\_cm@me.kyoto-u.ac.jp

なお、記念行事の詳細が決まりましたら、機械理工学専攻適応材料力学分野および材料工学専攻先端材料機能学分野のwebにて紹介いたします。

## 「震災孤児へ図書を送る会」のご紹介

「震災孤児へ図書を送る会」は、京大マイクロエンジニアリング専攻田畑修研究室チーム(TBTチーム)が国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストで獲得された優勝賞



TBTチーム

金3000ドルに有志の寄付を合わせ、震災孤児へ図書を送る京大OB有志によるボランティア団体です。

京機会関係者はじめ多くの方から寄付を頂きました。御蔭様で計30万円余の基金が集まり、石巻市近郊在住の孤児38名と宮城県立豊学校在学中の仙台近郊の孤児2名へ図書を贈呈出来ました。

京機会九州支部メンバーのネットワークをとおして右記の現地ボランティアと連携させていただき、支援を円滑に進めることが出来ました。

「震災孤児へ図書を送る会」や被災地支援の様子は、京機短短信No. 163、No. 170、No. 174にて紹介しています。

### 震災孤児へ図書を送る会

URL: <http://shinsaiKoji.blog.fc2.com/>

### 「石巻スコッパース」

スコップ三味線(新日鐵の鉄使用)の演奏グループ兼ボランティア団体。新日鐵の京機会メンバーのネットワークから連携することが出来ました。

### 「お気持ちお届けプロジェクト」

三菱重工有志を中心とした物資支援活動団体。重工OBの京機会メンバーからご縁を頂きました。

<http://okimochitodoke.salut-paris.com/>

### <京機会事務局より>

左記は「震災孤児へ図書を送る会」に届けられた多くのお便りのうちの一編です。

本年1月には、TBTメンバーが、子供たち宛に手紙を送付するなど、小さな交流も始まっている様子です。

